
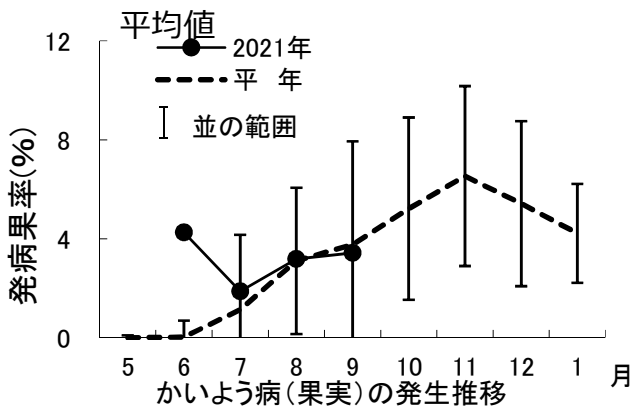
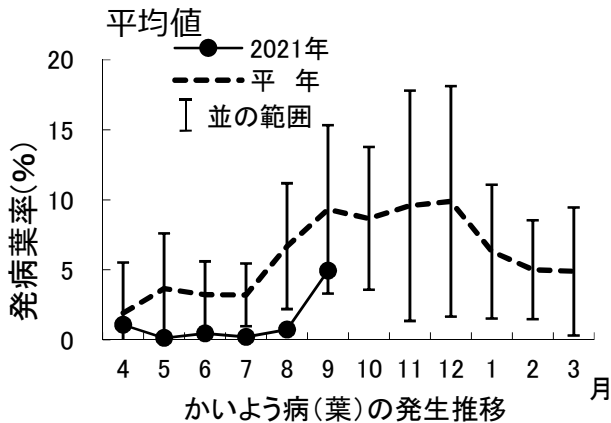
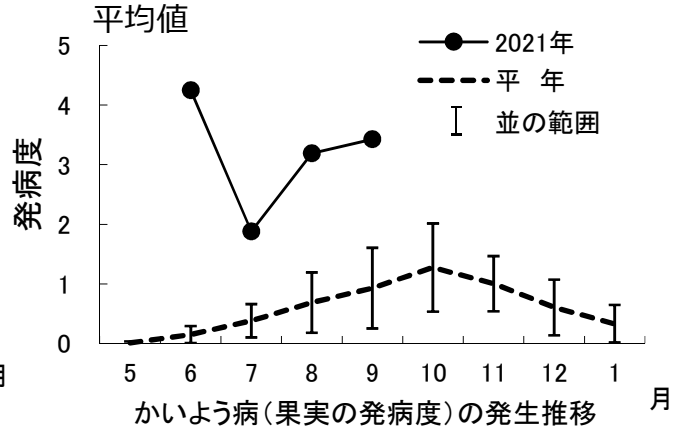


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報	9 月からの増減傾向	↗	
	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗) 今後 1 か月の降水量が平年並の見込み	

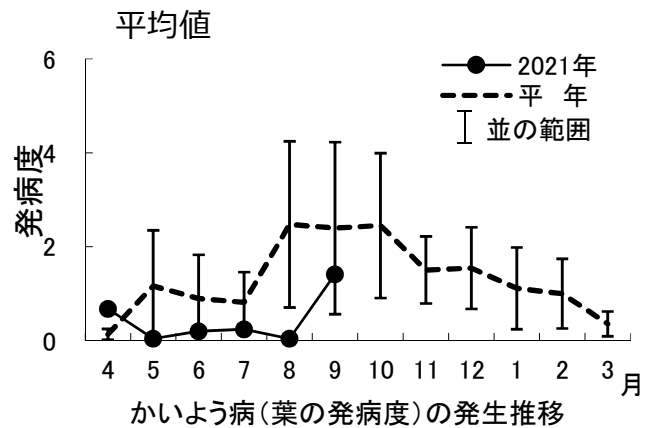
調査結果



・ 発生ほ場率 : 80.0% (平年76.7%)



・ 発生ほ場率 : 80.0% (平年83.7%)




防除のポイント

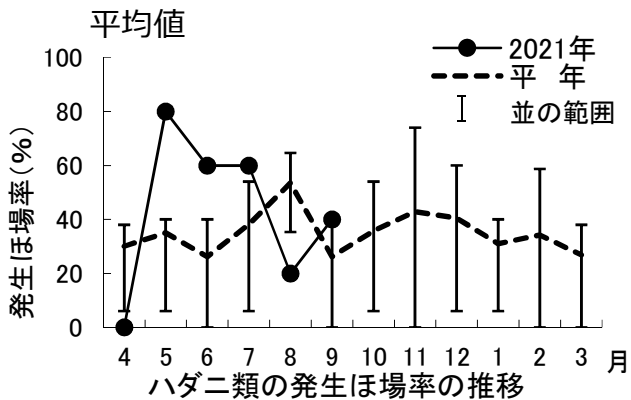
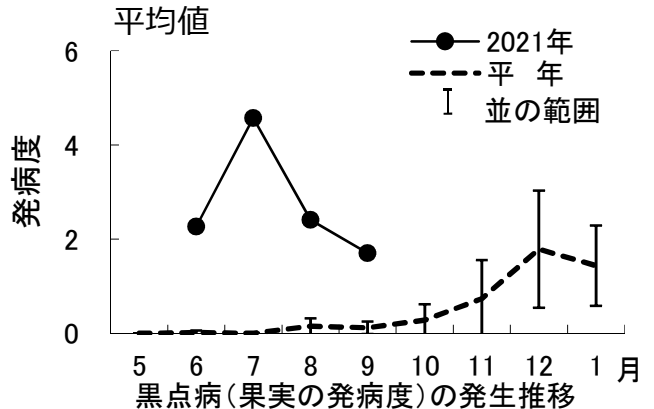
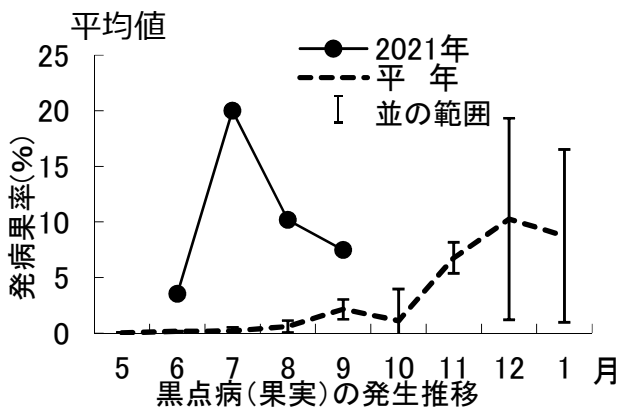
- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口 (風傷) は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

被害葉→




作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
予報	9 月の発生量 (平年比)	やや多	
	9 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓) 今後 1 か月の降水量が平年並の見込み	

調査結果

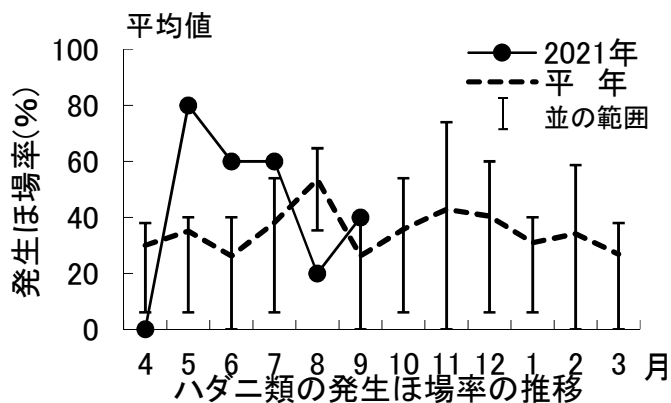
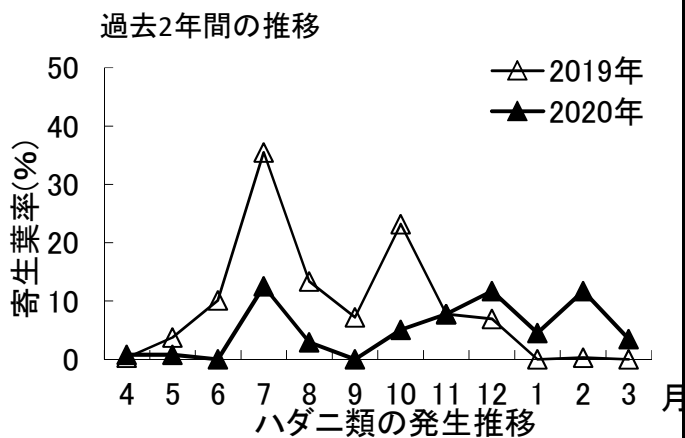
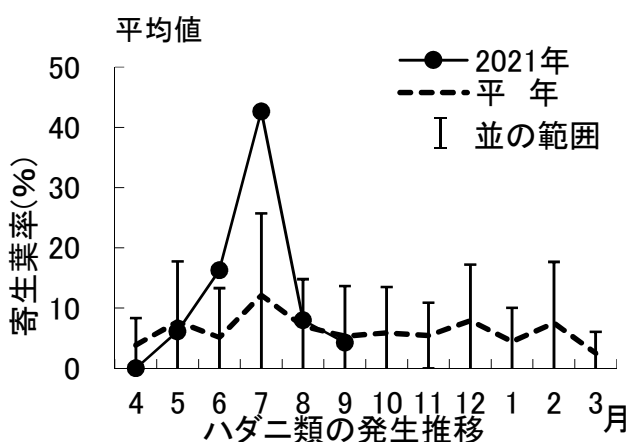


防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島	
病害虫名	③ ハダニ類			
調査結果	9 月の発生量（平年比）			並
予報	9 月からの増減傾向			→
	10 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→） 今後 1 か月の降水量が平年並の見込み		

調査結果



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状